

大会概要

1. 開催日：2021 年 12 月 3 日（土）
2. 開催場所：熊本県立大学 CPD センター・CPD ホール

〒862-8502 熊本市東区月出 3 丁目 1 番 100 号熊本県立大学

3. 大会スケジュール

時間	内容
9：30	受付開始
9：50	開会あいさつ
10：00 ～ 12：00	特別講演会・シンポジウム
12：45 ～ 13：15	幹事会・総会
13：30 ～ 14：30	ショートプレゼンテーション
14：30 ～ 15：30	ポスター発表①（60 分）奇数番号
15：40 ～ 16：40	ポスター発表②（60 分）偶数番号
17：00 ～ 17：10	ポスター表彰・閉会式

4. ポスター発表の概要

ポスター発表は、ショートプレゼンテーション（1 講演 2 分程度）を行い、その後奇数番号と偶数番号に分かれて、はじめに奇数番号の講演者がポスタープレゼンテーションを行い、終了後偶数番号がポスタープレゼンテーションを行います

5. ポスター賞

審査希望者には、日本生物環境工学会九州支部会の規定に沿ってポスター賞の審査が行われます。

6. 会場までのアクセス

車によるアクセス

熊本ICから	約15分(約4.3km)	JR熊本駅から	約25分(約8.2km)
益城熊本空港ICから	約10分(約4km)	JR水前寺駅から	約15分(約4.2km)
阿蘇くまもと空港から	約25分(約13km)	—	—

都市バスによるアクセス

桜町バスターミナル (旧交通センター)	15番のりば	都市バス「長嶺小学校」行、「免許センター」行([G1-4]、[G1-5]表示) 「日赤病院前」バス停下車(約30分)。そこから徒歩1分
	26番のりば	都市バス「日赤病院・長嶺団地」行 ([H1-1]、[H2-1]、[H3-1]表示) 「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。そこから徒歩1分
JR新水前寺駅方面 「水前寺駅通り」 バス停 (スーパーマーケット前) から	都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車([H2-1]、[H3-1]表示) 「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分	
JR水前寺駅方面南口 「水前寺駅前」 バス停から	都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車([H2-1]表示) 「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分	
JR水前寺駅方面北口 「熊高正門前」 バス停から	都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車([H1-1]、[H4-1]表示) 「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分	
熊本駅方面から	- バスにより桜町バスターミナル下車(約10分) - 市電により辛島町電停下車(約10分)、その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分 ※桜町バスターミナルからの行き方については上記参照	

高速バス（福岡等九州各方面から高速バスを利用する場合）

バス利用	桜町バスターミナルで下車、上記の「桜町バスターミナル」参照	
タクシー利用	益城熊本空港インター経由便	益城熊本空港インターチェンジを降りてから2つ目の「自衛隊前」バス停で下車。 タクシー乗車 約10分。(約2.2km)
	熊本インター経由便	熊本インターチェンジを降りてから3つ目の「帯山中学校前」バス停で下車。 タクシー乗車 約10分。(約2.5km)

熊本県立大学キャンパスマップ

学会会場



ポスター発表プログラム

ポスター 番号	タイトル・発表者・所属	講演要旨 ページ
P1	収穫時期がトマト貯蔵中の機能性成分含量の変化に及ぼす影響： 長期多段取りミニトマトのケーススタディ ○圖師一文，山下華菜，高橋ひろみ (宮崎大学農学部)	1
P2	超高光量 LED 光源と制御装置の開発・商品化 ○木原敏彦 ¹ ，河野智謙 ² (¹ 株式会社環境フォトンクス， ² 北九州市立大学国際環境工学部)	3
P3	収穫後の処理が生菜‘半夏’の品質に及ぼす影響 ○五十嵐健真 ¹ ，田中宏幸 ² ，松岡 健 ³ ，吉田 敏 ⁴ ，江口壽彦 ⁴ (¹ 九州大学大学院生物資源環境科学府， ² 山口東京理科大学， ³ 九州大学， ⁴ 九州大学実験生物環境制御センター)	7
P4	ニラの葉の成長に伴う光合成産物分配の動態 ○佐藤寿樹 ¹ ，安武大輔 ^{2,3} ，野村浩一 ³ ，山根信三 ⁴ ，北野雅治 ³ ， 横山 岳 ² ，広田知良 ² (¹ 九州大学大学院生物資源環境科学府， ² 九州大学農学研究院， ³ 高知大学 IoP 共創センター， ⁴ 高知大学農林海洋科学部)	9
P5	冬期湛水期の珪鉄施用が飼料イネ栽培水田における窒素動態に与える影響 ○山崎 陽 ¹ ，松添直隆 ² (¹ 熊本県立大学大学院環境共生学研究科， ² 熊本県立大学環境共生学部)	13
P6	サラダタマネギの味覚・機能性成分に与える紫外線照射の影響 ○仮屋慶二 ¹ ，山崎 陽 ² ，中嶋名菜 ¹ ，松添直隆 ¹ (¹ 熊本県立大学環境共生学部， ² 熊本県立大学大学院環境共生学研究科)	15
P7	環境要因がヒエの発芽に与える影響 ○曾我元希 ¹ ，山崎 陽 ² ，松添直隆 ¹ (¹ 熊本県立大学環境共生学部， ² 熊本県立大学大学院環境共生学研究科)	17

ポスター 番号	タイトル・発表者・所属	講演要旨 ページ
P8	培地へのクエン酸と鉄資源添加による青枯病菌の PC 化率の変動 ○林田朔弥¹, 山崎 陽², 中原浩貴³, 森 太郎⁴, 近藤謙介⁵, 松添直隆¹ (¹熊本県立大学環境共生学部, ²熊本県立大学大学院環境共生学研究科, ³鳥取大学乾燥地研究センター, ⁴滋賀大学教育学部, ⁵鳥取大学農学部)	19
P9	飢肥城本丸オビスギ林の植林 100 周年に行ったドローンによる植生調査および近隣のスギ林との比較 ○ 内田涼太郎, 久保田自希, 新岡連太郎, 河野央子, 河野智謙 (北九州市立大学)	21
P10	ミドリゾウリムシの共生緑藻が紫外線照射下での宿主細胞の生存率に及ぼす影響 ○安間元紀¹, 糸山頌剛¹, 田中雅敏², 河野智謙¹ (¹北九州市立大学国際環境工学部, ²福岡県工業技術センター機械電子研究所)	23
P11	イチゴの健全苗育成のための多芽体誘導条件の検討 ○岡田晴生¹, 加藤彰太¹, 野崎克弘², 黒木 尚³, 沖野圭志朗², 霧村雅昭¹ (¹宮崎大学農学部, ²宮崎県総合農業試験場, ³宮崎県児湯農林振興局)	25
P12	ウスベニアオイとゼニアオイの栽培に適した光条件の検討 ○永田奏絵, 柳沢美遥, 迫 里沙, 霧村雅昭 (宮崎大学農学部)	27
P13	LED植物工場産レタスの品種と包装, 貯蔵温度の違いが品質に及ぼす影響 ○柳沢美遥, 永田奏絵, 迫 里沙, 圖師一文, 霧村雅昭 (宮崎大学農学部)	29
P14	LED植物工場でのレタス栽培における掻取収穫が収量と品質に及ぼす影響 ○迫 里沙, 永田奏絵, 柳沢美遥, 圖師一文, 霧村雅昭 (宮崎大学農学部)	31

特 別 講 演

Leonor Michaelis 博士来日 100 年記念～

植物科学および農業の分野で活用されるミカエリス・メンテン型

数学モデルの応用実例

河野智謙（北九州市立大学国際環境工学部）

シンポジウムプログラム

九州の生物環境工学研究 I

1. イチゴ果実の成熟期間，アントシアニン含量およびビタミン C 含量の栽培時期による変動

川信修二（前南九州大学環境園芸学部）

2. 栽培環境による野菜の食味・機能性の変化：トマトとイチゴの研究から見えるもの

圖師一文（宮崎大学農学部）